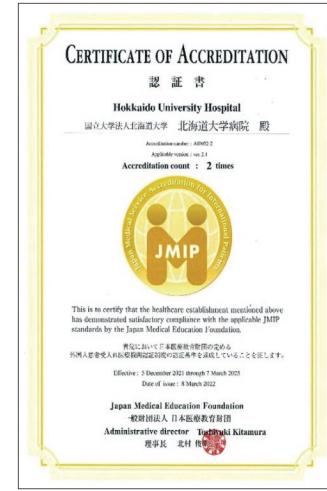




病院機能評価3rdG:Ver.2.0 認定

日本医療機能評価機構は、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とし、中立的・科学的な第三者機関として医療の質の向上と信頼できる医療の確保に関する事業を行う公益財団法人であり、本院は、機構の定める基準に達しているとして、2020年12月4日付で認定証の交付を受けました。



外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)認証

本認証制度は、外国人患者受入れ体制の評価、認証を通じて、多言語による診療案内や、異文化・宗教に配慮した対応など、外国人患者の受入れに資する体制を、日本医療教育財団が第三者的に評価することを通じて、国内の医療機関を受診するすべての外国人に、安心・安全な医療サービスを提供できる体制づくりを支援することを目的とした制度です。

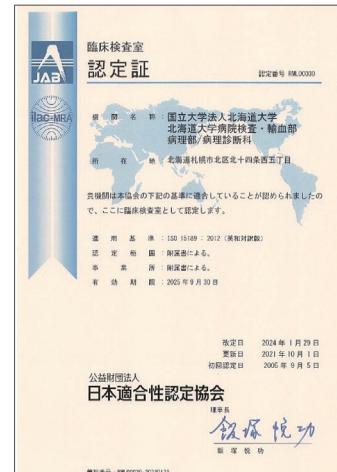
本院は、平成30年12月5日付で日本医療教育財団の定める「外国人患者受入れ医療機関認証制度」の認証基準を達成していることが認定されました。



日本輸血・細胞治療学会 輸血機能評価認定制度(I&A制度)認定

本院は、輸血用血液や分画製剤の適正使用を徹底し、輸血の安全を保証することで、より安全な輸血管理が行われていることを認められ、日本輸血・細胞治療学会より輸血機能評価認定(I&A)を受けました。

現在、輸血機能評価認定施設は、全国で171医療機関が認定されています。



ISO15189認証取得

本院検査・輸血部は、平成17年9月、日本最初のISO15189認定検査室として承認されました。

ISO15189とは、国際標準化機構が平成15年2月に定めた臨床検査室のグローバルスタンダードです。

ISO15189の認定を取得したということは、検査が正しく行われるための仕組み(マネジメントシステム)と正しい検査結果を出す技術・能力が国際的な基準を満たしていることを意味します。

(国際共同治験や医師主導治験へ参加する場合、臨床研究中核病院を申請する場合には、この認定が必要になります。また、国際標準検査管理加算の請求が可能となります。)

平成31年1月、病理部/病理診断科が拡大認定されました。